

平成30年度事業報告

学育事業部

事業部長：野田 富美子

【平成30年度事業部方針 ビジョン・戦略】

「各自が自分の役割を理解し、共通の目的に向かって組織横断で協働する」
『施設同士が透明性を上げ、前向きに確認し合って、
ひまわり学育の考え方をチーム(施設)に浸透させる』

【長のチームマネジメント力の相互研鑽】

◇活動内容

法人巡回を行い、各施設の課題発見とその対策に努めました。また、その課題に対しての進捗経過及び成果を運営会議で発表し、施設長間で互いにアドバイスをするなどして他施設の成功例を自施設に生かしていけるように情報共有をしました。

◇成果と今後

施設長同士がチームである意識し、互いの方向性を揃えていくことには一定の成果が得られました。これまでは職員の配置基準にどの施設も苦慮していましたが、年間を通して見ると規定配置をクリアできたことから、事業部運営を自分事として考えられるようになってきたと考えます。次年度は、さらに『ひと・もの・かね』にも目を向けた『属人化からの脱却』を目指していきます。

【共通の指導方針に則って各施設の指導計画を立案・実行】

◇活動内容

放課後の児童に対する《指導方針書》を作成しました。現状の子どもの様子にフィットした指導をするために、指導方針書を基に毎月「月案」を作成し、職員が配慮すべき点を確認しながら児童対応をし、月末の反省では非常勤職員からの声も集めて翌月に生かしていくというサイクルを確立しました。また、1年を通して一部の児童の成長を追っていきました。

◇成果と今後

各施設の中で児童のことについて話す機会が増え、学年や特性によって様々な配慮すべき点があることに気がきました。また、職員からの児童への声かけや立ち居振る舞いにも変化が見られるようになりました。次年度は、職員の事務的な業務の細分化を図り、計画的な事業運営を目指します。それによって捻出された時間は、さらに児童の育ちのサポートが強化できる月案作成とその実践に取り組みます。

【専門機関につなげる為の周辺領域の研鑽】

◇活動内容

・AED研修、発達研修(2回)、アレルギー研修、不審者対応研修、ケース検討、グループディスカッション、プロセスデザイン研修、お便り作成研修、実行計画策定研修など、法人・事業部主催の学びの場の提供、各施設内研修及び行政研修等。

◇成果と今後

学びに対する意欲の向上に繋がりました。今後は、誰もが「講師」として活躍することで更なる研鑽を図ると共に、全ての正規職員が他施設で企画提供を行う(OJT)ことによって、それらが《多施設運営》の強みとなるよう、事業部内の共有システムの構築化を目指します。

志村第二小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数				年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数					
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤			
						就	退	就	退							就
施設長	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
補佐1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
補佐2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
一般職員	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	2	
非常勤職員	0	0	14	0	0	0	3	0	0	2	12	0	0	13	13	
登録型 パートタイマー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	4	0	14	0	0	0	3	0	0	2	0	3	0	13	17	

【施設運営状況】

- ・「自分なりの楽しみを見つけられる子」、「自分との違いを認められる子」を育てたい子ども像に掲げ、子どもたちと接してきました。日々のイベントへの参加を強制することなく自分で何をしたいかを決められるような声かけを意識し、イベントの楽しさも伝えながら最終的には自分で判断できるよう促してきました。また、自分と友だちでは、やりたいことや楽しいと思うこと、冗談と思えることと傷つくこと、得意や不得意など、「他人との違いがあって当たり前なんだ」ということを日頃から自然に受け入れられるように伝えてきました。
- ・毎月の目標を子どもたちに分かりやすい言葉で掲示したところ、活動中にその月の目標を子どもたち同士が話している場面があり、少しずつ浸透してきたように感じます。
- ・イベントや行事については年度始めに《ねらい(意図)》を担当職員で決め、そのねらいに沿って進めてきました。これにより非常勤職員も積極的に参画するようになり、職員全員で作っていこうという意識が高まりました。

【利用者支援状況】

- ・保護者のお迎え時にあいキッズでの様子を話し、児童に関する情報を家庭と共有する事に努めました。
- ・イベントの充実を図り、利用する児童が学年や来られる曜日を問わずに楽しめるよう工夫しました。
- ・学校と連携を図り、児童対応や遊び時の約束に違いが生じないように配慮しました。
- ・保護者会の折に写真の展示やスライドショーを行い、普段の様子が(言葉だけでなく)視覚で分かるようにしました。

【施設整備状況】

【区で準備した物品】 特になし

【法人で購入した物品】 3階収納棚

【年間利用状況】(各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	94	89	85	87	76	84	80	78	74	70	69	72	958	79
さんさん	39	23	33	36	25	25	18	20	19	14	14	15	281	23
計	133	112	118	123	101	109	98	98	93	84	83	87	1239	102

【利用者在籍状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
27年度	80	469
28年度	101	424
29年度	126	417
30年度	133	395

【主なできごと】

4月： 新入生歓迎会、こいのぼり工作、1年生タイム(1年生のみで集団遊び)

5月： おえかきタイム、サイエンス教室(X ジャイロ作り)、防犯訓練、校庭探検

6月： セタ工作(ちょうちん作り)

7月： サイエンス教室(科学手品を覚えよう)

8月： あいキッズまつり、マジックショー、オセロ大会

9月： サイエンス教室(スーパーボールを作ろう)

10月： ハロウィン工作、秋フェス

11月： サイエンス教室(ダイラタンシーを作ろう、触ろう)

12月： クリスマス工作、年末お楽しみ会、将棋大会

1月： サイエンス教室(科学を使った小ネタ集)

2月： 節分ドッジボール大会、防犯訓練、ひなまつり工作

3月： サイエンス教室(宝石みたいな石鹸作り)、進級お楽しみ会

※毎月、英語であそぼう、シムニシリーズ(5、6、9、11)、おえかきタイム、にチャレ、避難訓練、読み聞かせ、走り方教室を実施しています。

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
1件	1年女児 「昨日、娘は出席予定だったのに、帰ってきた。その後あいキッズから出欠確認の電話がなかったためこちらから掛けた。 普段どういう対応をしているのか。」	確認したところ、前日は全学年4時間授業で13時すぎから児童が来室しはじめ、当該児童が来ていない事を、受付担当の職員が電話担当の職員に伝える前に、先に保護者から問い合わせの連絡が入っていた。そのことを伝え、保護者のご理解をいただいた。
1件	1年女児 「2年男児が娘に『くそばばあ』と言うのをやめさせてほしい」	当該男児に注意し、今後言わないことを約束させた。
1件	1年女児 娘があいキッズに行きたくないとやっている。(友だちに「遊ぼう」というと断られる。)	友だちとの関係を注視していくと伝えた。
1件	1年女児 同じ保育園出身の3名の女児から学校、あいキッズで嫌がらせをされる。具体的には「挨拶をしても無視される」「鬼ごっこに誘われ断っても無理やりやらされ、しかも鬼」「他の子と遊ぼうとしてもそちらに行かせてくれない」等	あいキッズでの様子や今後気をつけていくこと、5人のこれから目指すべき姿等を話し納得して帰られた。その後も迎え時やちょっとした電話連絡のときにあいキッズでの様子を伝え安心してもらっている。
1件	2年女児 ルールに反して学校へ忘れ物を取りに行った児童に注意をした。その後すぐにお迎えが来て保護者へ引き渡したが、保護者と合流した時に児童が泣いていた。注意をした(玄関にいた)職員に保護者が「子どもが泣いている理由」を求め職員が説明。保護者から「大人の都合ではないか」と言われた。	再度、学校と取り決めがあることやその理由を伝えると保護者は「わが子が理解できてなかったんですね。そんなことで泣いたりして…申し訳なかった」とご理解いただいた。当該職員は、「児童へ十分に周知ができていなかった。今後気をつけていきます。」と反省。

【その他】

① 安全管理

● 避難訓練

- ・避難訓練を年12回行いました。(内、引き渡し訓練1回、不審者対応訓練1回)
避難経路の確認。さんさんときらきらの動きの確認。
あいキッズ棟からの避難の仕方。

● 健康管理

- ・アレルギー児童へは保護者と面談の上、食品除去した安全なおやつを提供できるように配慮しました。
- ・受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。
- ・夏季に限らず水分補給の重要性を伝え、活動中の児童へ適宜呼びかけました。
- ・日常的に《手洗いうがい》を奨励し、食中毒等が流やりやすい時期にも自然にできるよう指導しました。

● 衛生管理

- ・衛生管理委員会を立ち上げ、おやつ時に室内が衛生的に保たれるよう毎月話し合いをしました。
- ・衛生管理表を基に、おやつ配膳時に衛生的な環境が保たれるよう配慮しました。また、衛生管理チェック表の抜け漏れが無いよう注意を払いました。

● 安全管理

- ・職員会議にて他施設で起きた事故の事例検討を行い、自施設に置き換えて対応できるようにしました。
- ・毎始礼時にヒヤリハットに関するフィードバックを行い施設の危険箇所や児童の行動に対応しました。
- ・雨天後の外遊びの際に遊具の状態を確認し、水滴を拭き取ってから使用したり、使用禁止にしたりして事故の未然防止に注力しました。

② 地域交流

- ・毎年恒例となっている「奨学会」と「おやじの会」それぞれが主催するお祭りに、あいキッズとして参加させていただきました。PTAのお祭りでは《バルーンアートコーナー》を、おやじの会のお祭りでは《スライム作り》を担当し、どちらも好評でした。
- ・「南蔵院こども食堂」の活動にあいキッズの児童が多く参加していることもあり、職員が児童の見守りや行われているイベントの手伝いをしました。
- ・3月に「あいキッズ運営連絡会」を開催しました。第一回目でしたので、校長を含む学校関係者及び地域の方々にお声かけをして集まって頂きました。「あいキッズの1年間のあゆみ」を紹介し、まずは地域の方々にあいキッズを知ってもらいました。今後は年2回、定期的な開催により、運営に対するご意見を頂く場としていけるように引き続きの参加をお願いしました。

志村第六小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数				年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数					
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤			
						就	退	就	退							就
施設長	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	
補佐1	1	0	0	1	0	1(1)	0	0	0	0	1(-1)	1	0	0	1	
補佐2	2(1)	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
一般職員	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
非常勤職員	0	1	19	20	0	0	1	0	9	11	-1	0	1	19	20	
登録型 パートタイマー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
計	5	1	19	25	0	1	0	0	9	11	-2	4	1	21	26	

【施設運営状況】

・責任者を含め常勤4名が入替わったことで、利用者だけでなく職員にも不安を抱えた中での運営開始となりました。運営の見直しをしていく中で、今までの運営方法に制限や見直しをかけることで『クレーム』としてご意見を頂くこともありました。また、6月には運営撤退の方針が出されたことで利用者と職員に大きな心配をかけることになりました。年末に運営を続けることが決まると、安堵する声が多く返ってきたことから、私たちの運営が利用者の皆さんに認めてもらっているのだと感じることができました。

【利用者支援状況】

- ・保護者会(年4回)や個人面談を随時実施し、保護者とお子さんの様子を伝える機会を持ちました。職員体制や運営内容に変更があったことについても丁寧に説明をすることで納得していただきました。
- ・保護者がお迎えに来た際に職員がお子さんの様子を直接伝えることで、次第に気軽に相談ができる関係を築くことができました。
- ・児童を迎え入れる前に、その日に出勤する職員全員で児童の様子を共有し、休んでいた職員にも情報が行き渡るようにしています。

【施設整備状況】

【区から準備した物品】 機械警備(あいキッズ棟)、電話機(新設)、防犯カメラセット(交換)、職員ロッカー

【法人で購入した物品】 特になし

【年間利用状況】(各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	111	104	105	109	90	104	93	98	92	88	87	88	1169	97
さんさん	61	51	59	61	34	47	47	46	36	32	34	31	539	45
計	172	155	164	170	123	151	140	144	128	120	121	119	1708	142

【利用者在籍状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
28年度	156	524
29年度	142	559
30年度	162	502

【主なできごと】

- 4月： 駅マラソン、1年生を迎える会、紙コップおぼけ工作、紙ヒコーキゴルフ
5月： コラージュ下敷き作り
6月： マンカラ大会、ペーパークラフト、アンブレラバランス
7月： 七夕工作、レジンアクセサリー作り
8月： あいキッズまつり、すいか割り、ペーパークラフト
9月： 卓球大会
10月： ハロウィン、リレー大会
11月： ドッジボール大会
12月： クリスマスお楽しみ会、ペーパークラフト、体力測定会
1月： 伝承遊び(コマ、まりつき、あやとり)、駅マラソン
2月： 節分豆まきゲーム会、ペーパークラフト、卓球大会
3月： 早口早歩き大会

※隔週月曜日 英語であそぼう 実施

※サポーター事業 フラワーアレンジメント 学習支援(「しゅくだい先生」) バトンクラブ 読み聞かせ
卓球教室

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
1件	2年保護者 きらきら	・あいキッズカードに保護者からコメントの記載があり、返答は記入したものの、児童にカードを渡しそびれてしまった。そのことを保護者に連絡しなかったことで苦言をいた
		渡しそびれたことと連絡をしていなかったことについて謝罪した。また、運営面に関しては、平等性や安全性を考えた上で変更した旨を伝えた。

		<p>だいた。*職員が入れ替わったことで今までの運営といろいろなことが変わり過ぎて困る。</p>	
4件	保護者 きらきら	<p>・出欠確認のため保護者に連絡を入れたところ、事前にあいキッズカードに記入してあると返答が返ってきた。</p>	<p>前回出席時に受付を担当した職員が見落とした可能性があったため謝罪した。</p>
1件	4年 保護者 きらきら	<p>・宿題をあいキッズで「やるな」と言われ帰って来た。以前よりあいキッズで宿題だけは必ずやらせてほしいと伝えていた。どんな理由があっても家庭での約束を「やるな」というのはおかしい。</p>	<p>保護者との約束を守らせることができなかったことは謝罪した。「やるな」と言うことになった経緯を説明したが納得していただかず、今後は言い回しを変えて注意をすると伝えた。</p>
1件	6年 保護者 きらきら	<p>・友だちとのトラブルにより怪我をした。保護者に電話をして、受診が必要と思われる怪我である旨を伝えた。怪我の原因を詳しく伝えなかったこともあり、怪我をしたのは当該児が一方向的に悪かったためと伝わってしまった。</p> <p>・保護者から受診希望した病院を職員が断ってしまったことに対してもお叱りを頂いた。</p>	<p>2点とも職員の伝え方により意図がしっかり伝わらなかったことが原因であったので、合わせて謝罪した。</p>

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- ・地震や火災に備えた避難訓練を6回実施しました。(内、引き渡し訓練1回を含む)
- ・火災発生に備え、消火器の使い方を志村消防署の署員に来ていただき指導していただきました。

● 健康管理

- ・アレルギー児童へは保護者と面談の上、安全なおやつを提供できるように配慮しました。
- ・受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。
- ・猛暑の時期には、外遊びの合間に水分補給の休憩時間を設けて、児童及び職員の体調管理に努めました。

● 衛生管理

- ・毎日、おやつ配膳担当者が衛生点検を実施しました。
- ・児童には手洗い、うがいの励行の呼びかけをし、習慣化するように努めました。
- ・児童来室前の時間を使い、部屋の環境整備をルーチン業務としています。

● 安全管理

- ・施設内に不審者が侵入した際の対策として、志村警察署の方に通報訓練及びさすまたの使い方を指導していただきました。
- ・大きな事故やヒヤリハットがあった際には必ず一定期間職場内で注意を呼びかけ続け、職員の意識を高めるようにしています。

② 地域交流

- ・あいキッズ運営協議会を6月と3月に開催しました。6月は施設の見学会と紹介、3月は運営評価と次年度に向けた運営方針及び地域との連携について協議をしました。
- ・学校の重点課題への協力として『体力向上』の取り組みをあいキッズでも実施しました。毎週開催する『あいスポッチャ』、毎日の休み時間(中休みと昼休み)の校庭見守り及び遊びの指導を年間通じて実施しました。また、2月に開催された『体育研究発表会』という大きな会のサポートとしてあいキッズ職員が従事しました。
- ・学校運営連絡協議会に協議会のメンバーとして参加しました。(年3回実施)
- ・毎月発行している『あいキッズ便り』を学校・保育園(2園)・児童館・地域センター・青健会長・青少年委員などの方々に配付をしています。
- ・地域の安心や安全の向上と、町会同士の連携強化を目的として行われている地域勉強会『町の学校』に参加をしました(5回)。テーマが「子どもの居場所」とあいキッズに直結することもあり、近隣住民からのご意見をいただける貴重な場となりました。
- ・板橋区郷土資料館からの依頼で《武者行列保存会》の方があいキッズに来てくださり、児童に甲冑と兜の着付けをしてくださいました。恥ずかしがっていた子どもたちも、甲冑を纏うと写真撮影の時には満足気でした。

志村坂下小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数				年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数					
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤			
						就	退	就	退							就
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
補佐1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
補佐2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
一般職員	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
非常勤職員	0	0	15	15	14	9	0	0	0	0	23	0	0	19	19	
登録型 パートタイマー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
計	4	0	15	19	14	9	0	0	0	0	23	4	0	20	24	

【施設運営状況】

・平成24年度の開設以来取り組んできた、「チーム作り」の大切さを改めて確認した上で目指すべき方向性を整えました。そこで30年度の目標を、どの職員でも同じ対応が出来るように「報告・連絡・相談」の基本を遵守して、情報を共有していくこととしました。児童の受け入れや、補食の提供の仕方など、異動をしてきた職員や新しく働き始めるメンバーから分かりにくいとの声があがれば早急に見直し、改善に努めました。これらの取り組みによって、チームとして良い方向に進んでいると実感することができました。しかし、マニュアルの改変の遅れや口頭での伝達が増えたことにより、慌しさや不安感を募らせてしまうこともありました。これらの改善策として、今まで取り組んできたことがどのような意図や目的があって行われていたのかを後ほど確認ができるものを書面で作成しました。また、前日の児童の情報をまとめるなどして、効率よく伝達できるようにしました。その結果、児童についての話題は自然と増え、年度末に向けて少しずつ不安は解消されてきたように思います。情報を共有することの大切さだけでなく、難しさも実感した1年でした。

・サービス提供に関しては、児童から要望があった工作やあそびなどを可能な限り実現できるよう努めました。また、普段あまりやったことのないような創作あそびも入れて、イベントとして楽しめる機会を作りました。実施後には当月内で開催した行事の写真を掲示して、保護者にもあいキッズの活動を知ってもらえるよう環境整備にも力を入れました。また、児童・保護者のニーズに応えるだけでなく、職員一人ひとりの思いにも耳を傾けたり、行事の企画・運営を任せたりすることで一体感や達成感なども芽生え始め、チームとして成長ができたのではないかと思います。

【利用者支援状況】

- ・お迎えの時や保護者会、学校公開などの機会を使って、できるだけあいキッズでのお子さんの様子を伝える事に努めました。保護者からの相談に応えるだけでなく、児童の様子で気になることがある場合は、こちらから電話で伝えたり、状況に応じて臨時の面談も実施しました。家庭との連携がどの職員でもできるように、昼礼時など職員が一堂に会する場面では特に情報の共有に努めました。
- ・学校との連絡・連携が重要と考え、副校長とだけでなく、状況に応じて各クラスの担任とも互いに児童に関する情報の交換や共有を図りました。
- ・指導記録や、児童の前日の様子をまとめた資料を用いて、職員間で情報の抜け漏れがないようにしました。

【施設整備状況】

【区で準備した物品】 特になし

【法人で購入した物品】 特になし

【年間利用状況】(各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	104	106	104	105	76	103	95	89	78	83	85	83	1111	93
さんさん	29	27	29	35	24	26	22	23	18	20	20	22	295	24
計	133	133	133	140	100	129	117	112	96	103	105	105	1406	117

【利用者在籍状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
27年度	104	415
28年度	138	404
29年度	139	406

【主なできごと】

- 4月:入会お祝い会、ぬりえコンテスト、マンカラ大会
- 5月:シッティングバレー、人間将棋、つくってあそぼう(びよんびよん蛙工作)、みんなでスポーツ
- 6月:おかし工作、つくってあそぼう(紙皿工作)、ドッジビー大会、ドッジボール大会
- 7月:写真立て工作、ブーメラン工作
- 8月:うちわ工作、船工作、あいキッズ祭り、大掃除
- 9月:楽器をつくろう、なんでもリレー、ブドウの壁飾り工作
- 10月:レッツバリボー、ハロウィングッズをつくろう、ハロウィン撮影会、つくってあそぼう(オバケ工作)
- 11月:どんぐり工作、バスケットボール大会、灯籠工作
- 12月:なわとび大会、クリスマス工作、年末お楽しみ会、大掃除
- 1月:絵馬工作、凧工作、伝承あそび、ボーリング

2月:バレンタイン工作、マラソン大会、科学実験教室

3月:モザイクアート、お楽しみ会、大掃除

※毎月、避難訓練を実施しています。毎週金曜日、九曜サッカー教室 第一・第三火曜日、英語であそぼう

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1件	1年 保護者	同じクラスの1年女児に物を隠されたので、話を聞いて欲しい。	個別に双方から話を聞き、お互いの考えや気持ちを伝え合った。どちらも言葉が足りずに、気持ちの行き違いがあったことを確認して、今後の約束事を決めた。
1件	3年生 保護者	帰宅途中に、4年男児に帽子を取られた揚げ句に捨てられてしまい、探したが見つからないので、確認をして欲しい。	相手の保護者に電話を入れ、状況確認をしてもらった。その結果、捨てたことが事実だと分かり、その帽子をあいキッズまで届けに来た。保護者の話では、日頃から馬鹿にされる発言をされていて、我慢できなくなり、今回の行動に及んだとの説明があった。その後、帽子は3年男児の自宅まで届け、謝罪をした。
1件	2年生 保護者	友人関係について心配をしている。仲の良い友だちと一緒にあそぼうとすると、他の女児が様々な理由をつけて邪魔をしてきて、遊ばせてくれない。	個別に、これまでのいきさつや双方の気持ちについて聞き取りをした後、それぞれの思いを相手に伝える場を設けた。また、今後はそれぞれの保護者にも必要に応じて連絡することにした。
4件	2, 3年生 保護者	4年男児に急に蹴られたり、暴力的な言葉で脅されることもあるので、何とかして欲しい。	関わったと思われる児童全員から話を聞き、どのような経緯でそのような事態になったのか事実確認を行った。職員が見えないところ(廊下やトイレ、帰宅路)でのことが殆どだったため、個別に聞き取り、その後双方を交えて確認を行った上でどちらにも反省すべき点があることを確認し、今後はお互いに気をつけるよう指導した。相談後も何度か同じ内容での相談があり、関わりを注意して見守った。

【その他】

① 安全管理

● 避難訓練

- ・毎月、様々な場面を想定した避難訓練を行いました。
- ・普段、活動拠点としている部屋以外の移動先での避難なども学校の許可を得て行いました。また、下校時に不審者に遭遇した時の対処法についても伝えました。

● 健康管理

- ・アレルギー児童については、予め保護者にアレルギー調査票に記入してもらい、面談をして、慎重に配慮・対応しました。おやつ時にアレルゲンが入っている食品を提供する場合、代替食として提供する食品の商品名や成分表を事前に知らせ、保護者から承認を得た食品のみを提供しました。また、職員の誰もが正しい準備や配膳が出来るようにマニュアルの整備を行いました。さらに、アレルギーだけではなく、賞味期限切れなどの事故も防ぐためにマニュアルの見直しを行い、職員への周知及び起きてしまった場合を想定したシュミレーション訓練も実施しました。
- ・受付にて児童への視診を行い、体調の悪い児童には都度対応しました。
- ・ケガをしてしまった児童や体調不良の児童について、一人だけでなく複数の職員で確認し、全職員が情報を共有できるように処置簿への記入を徹底しました。

● 衛生管理

- ・担当者を決め、施設の衛生点検を随時行いました。
- ・おやつやトイレ等の衛生管理状態を毎日点検し、チェック表への記入を行いました。

● 安全管理

- ・台風や地震の後に施設の破損個所の点検を行いました。
- ・その日に感じたヒヤリハットを毎日全員が記入し、チーム内で共有することで危険に対する意識を高めました。必要に応じて、会議の議題として取り上げ、全職員に注意喚起を行いました。

② 地域交流

- ・PTA主催の行事に参加し、保護者や地域の方々と交流する機会を持ちました。
- ・寺子屋主催の《冬祭り》に参加し、あいキッズからも1ブース出店しました。
- ・小学校の運動会の補助職員として、児童の介助を担当しました。
- ・月に1回、地域の方を講師にお招きして「バトン教室」「イラスト教室」「ヨガ教室」「将棋教室」を実施しました。また、学習補助など、ボランティアの方にもご協力いただきました。
- ・地域のサッカークラブに依頼し、毎週金曜日に「九曜サッカー教室」を行いました。

若木小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数				年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数						
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算		
		常勤	非常勤			常勤	非常勤	就	退			就	退			就	退
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1		
補佐1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
補佐2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
一般職員	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1		
非常勤職員	0	0	14	14	0	0	0	0	3	6	-3	0	0	16	16		
登録型 パートタイマー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	3	1	14	18	0	0	0	0	3	6	-3	3	1	16	19		

【施設運営状況】

- ・職場長と補佐1の異動があり、大きな体制変更の下でのスタートとなりました。同じあいキッズでもルールや工夫している点異なるため、改めてチームで《施設の方向性》を確認しながら運営を進めました。
- ・《職員の得意を活かす》という方針の中で、「みんなが知っていることを増やすことに努めてきました。イベントや児童の情報など、チームで知っているからこそ生まれる知恵やアイデアを採用していくことでやりがいやモチベーションの向上にもつながったと思います。

【利用者支援状況】

- ・学習支援の立場から、宿題を放課後に終わらせるための習慣を身につけるために、一人ひとりへの声掛けに力を入れました。
- ・地域サポーターによる「そろばん教室」では3段階のテキストを作成し、技能の習得や上達による喜びが実感できるようにしました。3段階目を卒業する児童も増え、『そろばん卒業式』も行いました。
- ・学校との連携事業である「放課後学習教室」では、担当職員が継続的に関わり、児童の苦手克服の為のサポートに努めました。
- ・電話やお迎えなどの対応時に相手に気持ちよく受け取ってもらえるように、職員間で言葉遣いや挨拶、表情などに常に気を配るよう伝えてきました。

【施設整備状況】

【区から準備した物品】 なし

【法人で購入した物品】 食器乾燥機(故障による買い替え)

【年間利用状況】(各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	94	96	93	95	73	94	84	84	79	76	76	75	1019	85
さんさん	44	47	51	49	26	45	33	34	29	28	35	32	453	38
計	138	143	144	144	99	139	117	118	108	104	111	107	1472	123

【利用者在籍状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
28年度	105	401
29年度	117	538
30年度	118	535

【主なできごと】

- 4月:きらきら工作、こいのぼり工作、入学進級お祝い会、避難訓練
- 5月:山崩し大会、交通安全指導、ドッジボール大会、バスケットボール大会、けん玉検定
- 6月:マンカラ大会、避難訓練
- 7月:七夕工作、サッカー大会、プチバスケット大会、防犯教室
- 8月:子どもチャレンジ、あいキッズまつり、ペットボトルロケット、すいか割りゲーム
- 9月:引渡し訓練、野球大会、どろだんごコンテスト、かまぼこ落とし、ミニミニゲーム会
- 10月:交通安全指導、キックベース大会、避難訓練、ハロウィン制作、ハロウィンコンテスト、アスリートと遊ぼう
- 11月:防犯指導、手洗い講習会、子どもチャレンジ、ミニミニゲーム会、バレーボール教室
- 12月:年賀状を作ろう、避難訓練、年末お楽しみ会、大掃除、手話教室発表会
- 1月:伝承遊び、ミニミニゲーム会
- 2月:豆まき大会、バレンタイン工作、マラソン大会、
- 3月:ババ抜き王決定、避難訓練、ワクワクおたのしみ会、もしかめ大会、
- ※月1回開催 ダンス教室、サッカー教室、手話教室、クラフト教室
 - ※隔月開催 スタッキング教室、けん玉教室
 - ※毎週開催 放課後学習教室(6月より)
 - ※隔週開催 英語であそぼう教室
 - ※サポーター事業 イラスト教室、そろばん教室、

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1件	2年男児 保護者	熱中症予防で校庭遊びを控えているのに帰宅の際に子どもたちだけで校庭で整列しているのはいかがなものか？	整合性が取れていないことを謝罪。以降は送りの担当職員が先に出ることを徹底し、児童が校庭で待つ時間を最小限にしている。
1件	2年男児 保護者	18時帰りで校庭に並んでいた際に傘を忘れたことに気付き、取りに戻ってから元の場所に戻ろうとしたところ、既に並んでいた児童とトラブルになった。正門からその様子を見ていた保護者から「取りに戻った時に注意して欲しかった」などの指摘を受けた。	当日と翌日に事業部長が対応し、保護者にはご納得いただいた。◀職員が先に出て子どもを並ばせる▶という意識の希薄が事後対応に繋がったと捉え、改めて職員の意識強化を図った。
1件	1年男児 保護者	◀19時お迎え▶から◀16時一人帰り▶へ変更依頼の連絡があったが、本人が来室前だったため直接伝えることができず、そのまま伝え漏れてしまった。	保護者から「子どもがまだ帰っていない」との連絡を受け、伝達漏れが発覚した。すぐに謝罪し、帰宅させた。インカムによる「一往復半の確認」をチーム内で共有することで改善を図っている。
1件	2年男児 保護者	お迎え時に、学校から配付された通知表を取り出して見ている児童にあいキッズの職員が誰も注意しなかったことに対して、個人情報に対する管理面に関して指摘を受けた。	ピンク封筒について学校に確認したところ、「家まで絶対に出さないもの」だと知り、職員間でこれについて共有した。昨今の個人情報についての認識の甘さを痛感した。
1件	2年男児 保護者	帰宅方法の確認時に、以前◀母親が入院中のみ可▶とされていた祖母宛に連絡してしまい、個人情報の取り扱いについて苦言を頂戴した。	個人情報の管理・取り扱いが不十分であったことを謝罪した。以後、使用目的(期間)外での個人情報のやり取りはしないことを全職員で共有した。

【その他】

① 安全管理

● 避難訓練(5回)

・地震や火災時の避難方法など、時期や種類に合わせて訓練しました。

● 健康管理

・猛暑の日が多く、外遊びの間には水分補給の休憩時間を設けて、児童の体調管理に努めました。
・校庭から入室する際には衣服の埃を払い、手洗いうがいをするよう、年間を通して指導しています。

● 衛生管理

・毎日、おやつ配膳担当者が衛生点検を実施しました。

- ・補食の提供方法について、職員間で確認・共有する場を設けました。
- ・嘔吐処理の研修を行いました。

● 安全管理

- ・施設内で起きた事故の検証と未然防止に向けた職員配置や動きの見直しを行いました。
- ・受付の位置を変更し、児童の動線の整理をしました。

② 地域交流

- ・年に3回開催する大きな行事(あいキッズ祭り・クリスマス会お楽しみ会・年度末お楽しみ会)に、校長、副校長、担任の先生方が見学に来てくださり、一部、参加もしていただきました。
- ・PTA主催の行事(PTA 祭り)に職員が参加し、保護者や児童と関わる機会を持ちました。
- ・町会の行事や寺子屋事業主催のイベントに、あいキッズとして参加しました。
- ・中台地区の『さくら草まつり』に、けん玉ダンスの有志(12名)が出演しました。

上板橋第二小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数				年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数					
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤			
						就	退	就	退							就
施設長	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	1	
補佐1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
補佐2	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	
一般職員	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
非常勤職員	0	0	13	13	0	0	0	0	5	6	11	0	0	12	12	
登録型 パートタイマー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	0	13	17	1	1	0	0	5	6	13	4	0	12	16	

【施設運営状況】

- ・今年度も昨年同様に、学校運動会に合わせてあいキッズのPRとしてぬり絵とレゴ・ラキューの作品展示会を行いました。また、子どもたちのあいキッズでの様子を写した写真を掲示し、あいキッズで遊んでいる遊具を紹介するコーナーも設けて、実際に遊びを体験してもらいました。当日は、多くの保護者の方が来てくださり、あいキッズを知っていただくよい機会にすることができました。
- ・チームの連携力向上を目指す取り組みとして、積極的に話し合い伝え合う場を設けてきました。そうすることにより、互いの意見や考えを知る機会が増え、抜け漏れのない情報共有の徹底につなげることができました。特に子どもたちについて話をする時間は多く設け、子どもたちの成長過程を知ることや児童対応における職員の『判断基準』や『気付きの視点』を揃えることに努めました。

【利用者支援状況】

- ・個人面談や保護者会を通じて、あいキッズでのお子さんの様子を家庭と共有する事に努めました。
- ・個人の相談にも迅速に対応できるように、職員間の「報告・連絡・相談」を密に取り、学校の先生方とも連携を図って、児童や保護者にとって良い方法を一緒に考えていくようにしました。
- ・電話やお迎えなどの対応時に相手に気持ちよく受け取ってもらえるように、職員間で言葉遣いや気持ちの良い挨拶について常に気を配るよう伝えてきました。
- ・家庭に帰宅してから学習に取り組む時間が少ない児童の為に自主学習の時間を設けました。

【施設整備状況】

【区から準備した物品】 下駄箱(クローバー室前に設置)

【法人で購入した物品】 特になし

【年間利用状況】(各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	93	94	94	90	66	94	89	86	83	76	77	79	1021	85
さんさん	26	31	34	35	19	36	29	28	25	18	24	19	324	27
計	119	125	128	124	85	130	118	114	108	94	101	98	1345	112

【利用者在籍状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
28年度	72	269
29年度	105	237
30年度	128	218

【主なできごと】

4月:新入生交流ゲーム会、みんなでサッカー大会、英語であそぼう教室体験

5月:ぬり絵コンテスト、レゴ・ラキューコンテスト、ルービックキューブ記録会

6月:ピカピカどろだん GO!、パラシュート作り

7月:水遊び、ピカピカどろだん GO!、ロケット作り

8月:あいキッズ祭り、スイカわり大会、水てっぽう大会、砂場 de アート、ドミノチャレンジ

9月:リサイクル工作、カードゲーム講座、虫取りタイム

10月:PTA 秋祭りへの出店(射的)、ピカピカどろだん GO!

11月:なんでもリレー大会、ハートのブローチ作り、ドッジボール大会

12月:クリスマス工作、お楽しみ発表会、なでしこサッカー、毛糸のあみあみ製作

1月:正月遊び体験(けん玉、ベーゴマ、コマ)、巨大だるま落とし大会

2月:節分の読み聞かせ会、ぬり絵コンクール、風船サッカー

3月:ぼかぼかお楽しみ会、みんなでサッカー、みんなで鬼ごっこ、風船ドッジ

※通年:英語であそぼう、イナズマサッカー、一輪車デー、一輪車検定、けん玉検定、野球大会、
キックベース大会、音と遊ぼう教室、マンカラ大会

※サポーター事業 :クラフト教室・卓球教室・読み聞かせタイム、将棋大会、アロマ教室、アートのおうち、
演奏披露

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1件	1年男児	1年生男児に対して2年生男児が悪口を言う。そのことを十分に把握できていなかったことに関してご意見をいただく。	双方の児童から改めて経緯の聞き取りを行う。その上で悪口を言ったことを謝れていなかった2年男児が1年男児に謝り、仲直りをする。その経緯や対応について保護者にご説明をしてご理解いただいた。
1件	5年男児	職員の指導方法に関して児童が不信感を抱き、後日保護者から経緯に関する質問及びご意見をいただく。	児童本人と改めて話をする。保護者には、児童の気持ちにしっかりと寄り添った指導をしていくことをお伝えした。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- ・避難訓練を年6回実施しました。

(内地震訓練4回、引き渡し訓練1回、火災訓練1回)

- ・訓練の中で『自分の命は自分で守る』力を身につけられるように計画を立てて取り組みました。また学校で使用している標語を同様に取り入れました。

● 健康管理

- ・アレルギー児童へは保護者と面談の上、食品除去した安全なおやつを提供できるように配慮しました。

- ・受付時に児童への挨拶の際に視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。

- ・猛暑が続いたので、外遊びの間に水分補給の休憩時間を設けて、児童の体調管理に努めました。

● 衛生管理

- ・毎日、おやつ配膳担当者が衛生点検を実施しました。

- ・衛生管理表を基に、おやつ配膳時に衛生的な環境が保たれるよう配慮しました。

● 安全管理

- ・事故や怪我の対応について、ケース検討会を行いました。

- ・虐待防止についてチームの中で研修を行いました。良い機会となりました。

- ・職員配置に不備がないか、毎日のミーティング(始礼)で確認してから児童対応を行いました。

② 地域交流

- ・毎月、近隣保育園の2園と、図書館、町会役員宅にあいキッズ便りを配りました。保育園と図書館では、施設内に掲示をしていただきました。

- ・PTA主催の秋祭りに参加し、保護者や児童と関わる時間を持ちました。

- ・地域の方にご協力頂き、「卓球教室」、「クラフト教室」、「読み聞かせタイム」、「将棋大会」を開催しました。

- ・6年生(卒業生)による『感謝と巣立ちの会』に招待され、施設長が出席しました。

2019年5月31日

・初めての単独開催となる『あいキッズ運営協議会』を、11月と2月に開催しました。学校長及び副校長、小茂根図書館館長、区立保育副園長、PTA会長及び副会長、町会のまとめ役の方など、多くの地域の方にご出席いただきました。11月の会では、まずはあいキッズ事業のことを知っていただくことを目的に、事業概要や目的について説明しました。その上で、日々の運営に関することや子どもたちの日頃の様子などをお伝えしています。出席者の皆様からは、あいキッズの取り組みに対する好意的なご意見をたくさん頂戴することができ、地域の中のあいキッズとして認められていることを実感しました。

大谷口小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数				年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数					
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤			
						就	退	就	退							就
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
補佐1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
補佐2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
一般職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	0	1	13	14	0	0	0	0	2	4	6	0	1	11	12	
登録型 パートタイマー	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	1	
計	2	1	13	16	0	0	0	0	3	4	7	2	1	12	15	

【施設運営状況】

- ・30年度は前年度までの施設長を含む常勤職員4名の内、3名が異動となり新体制での運営となりました。
小学校の先生方や地域の方々との連携を大切にし、互いに情報を共有することで、児童の指導支援に関して大きなズレや誤解が起きないように努めました。
- ・育てたい児童像を「考えて行動できる子」「子ども同士が助け合える子」と設定し、こちらから一方的に正解を伝えるのではなく、「何をすべきか」「どうすればよかったのか」など、具体的に問い掛けることによって、子どもたち自身が自らを振り返り、答えを導き出せるためのサポートを心掛けました。

【利用者支援状況】

- ・個人面談や保護者会を通じて、あいキッズでのお子さんの様子を家庭と共有することに努めました。また、《ぴかぴか泥団子投票&写真展》や《くずの葉祭》などを開催し、お子さんの日々の活動を知って頂く機会としました。
- ・少しでも多く(できれば最後まで)宿題が終わらせられるよう、毎日30～45分の学習時間を設け、学習習慣の修得だけでなく、家庭での親子の時間の確保にも繋がることを目指しました。
- ・次年度の申請受付期間の前に「利用登録・申請手続き説明会」を開催しました。あいキッズの基本的な情報(利用区分、利用要綱、対象など)と共に、利用申請に関する説明や注意事項をお伝えし、質疑応答の時間を設けたことで申請期間内に手続きを完了することができました。

【施設整備状況】

【区から準備した物品】 鍵付き書庫(交換)

【法人で購入した物品】 特になし

【年間利用状況】(各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	65	63	64	65	48	65	62	63	58	56	63	58	726	61
さんさん	33	37	43	41	18	32	29	32	29	20	23	23	360	30
計	98	100	107	106	66	97	91	93	87	76	84	81	1086	91

【利用者在籍状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
28年度	59	253
29年度	62	293
30年度	78	213

【主なできごと】

- 4月:キラキラ工作、こんにちは会、こいのぼり工作、キックターゲット
- 5月:ぱたぱた工作、ハンドベル教室、マンカラ教室、ぬりえコンクール、日本を知ろう(大阪)
- 6月:マンカラ大会、ハンドベル教室、ドッジボール大会、交通安全教室、七夕下敷き工作
- 7月:七夕集会、ハンドベル教室、日本を知ろう(新潟)オンリーワン大会、うちわ工作、せんす工作
- 8月:すいか割り大会、ハンドベル教室、水でつぼう大会、ウォーターボード工作、集団制作、あいキッズ祭
- 9月:トランプ大会(ばばぬき・神経衰弱・スピード)、十五夜ピカピカどろだんご制作、日本を知ろう(千葉)
- 10月:ハロウィンバッグ工作、ハンドベル工作、将棋大会、ハロウィンゲーム集会
- 11月:野球教室、ハンドベル教室、木村選手と遊ぼう、勤労感謝の日工作、オセロ大会、日本を知ろう(熊本)、
秋の鑑賞会
- 12月:ハンドベル教室、全面サッカー、お弁当工作、おたのしみ会、カレンダー工作、オセロ大会、
レッツクリーニング
- 1月:お正月スペシャル(独楽まわし、かるた大会など)、ハンドベル教室、かみしばい作り、野球教室、
フリースロー大会、
- 2月:豆まき、くずの葉祭、料理教室、相撲大会、ハンドベル教室、迷路工作、日本を知ろう(山梨)、
チャンバラ教室
- 3月:将棋タイム、ハンドベル教室、レッツドッジボール、全面サッカー、メモリアルスライドショー、
ブーメラン工作、かいじゅう公園お披露目式
- ※英語であそぼうは毎月行う活動です。
- ※サポーター事業 : 琴教室、新体操教室、イラスト教室、読み聞かせ、将棋

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1件	4年 保護者	職員の言葉遣い・態度について、子供が怖がってショックを受けて帰ってきた。いくら悪いことをしていたとしても、子どもに対して脅すような言動はおかしいのではないか。	職員から事情を聞き、当該児童に対して何故注意をすることになったかについての経緯と状況を説明した上で謝罪した。今後の児童対応に関しては、態度や言葉遣い等、職員間で十分注意していくことを再度確認し、指導の徹底を図っていくことを約束した。
1件	1年 保護者	本棚からおりがみBOXが落下し怪我をした1年女児の保護者より、職員の安全管理と、BOX落下の原因を作った児童及びその保護者に関する態度・対応について苦言を頂いた。	安全な室内環境の整備と、職員の児童見守りに対する意識の見直しを徹底的に行い再発防止に努めることを約束した上で謝罪した。ただ、関係した児童の保護者への説明が不十分であったことからその後の対応が難しくなった経緯もあり、児童指導の徹底と共に、保護者への対応についても今後十分配慮していかなければならない。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- ・避難訓練を年9回実施しました。(内、防犯訓練1回、引き渡し訓練1回を含む)
- ・訓練の中で命の大切さや自分の命を自分で守る力を身につけられるように計画的に取り組みました。
- ・不審者侵入を想定した対応訓練では、職員が事前に『さすまた』の使い方等の研修を受けてから臨みました。実際の訓練では、警察の方に犯人役になっていただいて実施をしました。

● 健康管理

- ・アレルギー児童へは保護者と面談の上、安全なおやつを提供できるように配慮しました。
- ・受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。
- ・猛暑の時期には、暑さ指数(WBGT)に基づき、31℃以下の外遊び可能な日のみ屋外で遊び、水分補給の休憩時間を設けて、児童及び職員の体調管理に努めました。

● 衛生管理

- ・毎日、おやつ配膳担当者が衛生点検を実施しました。
- ・児童には手洗い、うがいの励行の呼びかけをし、ハンカチ持参が習慣化するように努めました。

● 安全管理

- ・事故や怪我が起きないよう、活動前には施設内・校庭の点検を行いました。
- ・職員配置に不備のない様、毎日のミーティングで確認してから児童対応を行いました。
- ・本棚やロッカーの上に物を置かないよう設備の見直しをし、落下による怪我の発生防止に努めました。

② 地域交流

- ・『あいキッズ祭り』や『くずの葉祭』に地域の方、保護者、学校の先生を招き、児童の活動の様子や成長した姿を見て頂きました。
- ・PTA主催の『くずの葉フェスティバル』において、あいキッズのブース「キックターゲット」を出店しました。地域の方々にあいキッズを知っていただく機会を持つことができました。
- ・地域の方にご協力頂き、継続してサポーター行事を行いました。新体操・バドミントン・琴・読み聞かせ・イラストに加え、31年度から将棋も加わりました。
- ・7月、3月に『あいキッズ運営協議会』を開催しました。校長、学校関係者、地域サポーター、町会長などにメンバーをお願いし、あいキッズの目的や活動をお伝えし、皆様からは今後の運営に対する貴重なご意見を頂く場となりました。

豊洲四丁目学童クラブ

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数				年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数					
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤			
						就	退	就	退							就
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
補佐1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
補佐2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般職員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	0	0	4	20	0	0	0	0	3	3	0	0	0	4	2	
登録型 パートタイマー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	2	0	4	7	0	0	0	0	3	3	6	2	0	4	2	

【施設運営状況】

・30年度は、非常勤職員を含めた全職員で(チームとして)施設を運営することを目標としました。昨年度まで常勤のみで行ってきた「子どもたちの前に立って遊びを見守る」ことや、「工作の考案及び準備」、「消耗品などの在庫確認」、「発注をする物品の管理」などの担当を分担して取り組みました。それぞれの得意分野を生かすことで、「一人ひとりが施設の運営に携わっている」という実感ややり甲斐にも繋がったと感じています。その他の取組みとしては、他施設で起こった事故やクレームを自分事として捉え、自施設に持ち帰った後は必ず報告し、職員間で共有することに努めました。また、児童と関わる上で大切にしたいことを記載した「心掛け集」を定期的に読み合うことで、児童対応における視点や指導のポイントなどがチーム内で定まりました。

【利用者支援状況】

- ・5月と7月に「保護者会」を行いました。スライドを使って普段の生活の様子を紹介したり、工作の作品や人気の玩具などを自由に手に取ってもらえるように会場の中に展示して、学童クラブでの子どもたちの日常を知ってもらうための機会としました。また、会の最後には自己紹介と一言ずつ挨拶の場を設けたところ、どの家庭からも「学童が楽しいと言って毎日通っているの、安心して仕事が出来ています」と、励ましの言葉を頂きました。
- ・6月と2月に「個人面談」を行いました。こちらからの情報発信だけではなく、家庭での様子や学校での悩み事など、保護者からでしか得られない情報を知ることが出来ました。また、学童運営に対する感想や思いをなども直接聞くことができました。

【施設整備状況】

【区から準備した物品】 非常用照明バッテリー、排煙レバー

【法人で購入した物品】 特になし

【年間利用状況】(各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
学童	14	14	14	14	12	12	12	12	12	12	14	12	154	13
計	14	14	14	14	12	12	12	12	12	12	14	12	154	13

【利用者在籍状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	学童
28年度	20
29年度	16
30年度	20

【主なできごと】

- 4月：入学進級おめでとう会
- 5月：イベント工作
- 6月：マンカラ大会
- 7月：観劇会、夏祭り(児童館主宰)、水遊び
- 8月：水遊び、お楽しみ昼食会、夏祭り
- 9月：引渡し訓練
- 10月：ハロウィンパレード
- 11月：マンカラ大会
- 12月：クリスマスお楽しみ会、大掃除、餅つき
- 1月：伝承遊び
- 2月：節分、マンカラ大会
- 3月：深川南部ドッジボール大会、お別れ遠足、お別れ会

※毎月：誕生会、お楽しみあそび、おやつカフェ

毎週月曜日 英語であそぼう 実施

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
1	2年保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子使用の要支援児。落し物を拾って立ち上がろうとした職員の頭部が口元にぶつかり唇が裂傷、歯がぐらついた。事故後直ぐに視診、触診をしたが、歯の揺れは感じず、出血も治まっていたので保護者にはお迎え時に口頭で説明。しかし帰宅後、歯の揺れが確認され、歯科医に受診したところ脱臼していた。職員の判断だけではなく、事故や怪我があった際は些細なことでも直ぐに連絡して欲しい。

【その他】

① 安全管理

● 避難訓練

- ・毎月、火災、地震、と場面を想定して避難訓練を行いました。
- ・地震による影響で隣接するキッズガーデン豊洲からの火災を想定し、合同で近隣の公園まで避難訓練を行いました。

● 健康管理

- ・入会の際に記入してもらう健康カードのアレルギー項目に記入がある家庭には、個別に連絡を取り、アレルギーの種類や症状などについて確認しました。
- ・児童が来室した際には対面で迎え、子どもたちとの会話や視診で健康状態を確認するようにしました。
- ・ケガや体調不良の児童については、一人だけでなく複数名で確認し、保護者には連絡帳や電話で必ず連絡を取るようにしました。また、応急処置簿への記入を徹底しました。

● 衛生管理

- ・担当者を決めて、施設の衛生点検を随時行いました。
- ・児童の来室前に毎日清掃を行いました。また、空調設備や換気扇の清掃を毎月実施し、日々の衛生管理に努めました。

● 安全管理

- ・台風や地震の後に、施設の破損個所の点検を行いました。
- ・「学童クラブチェックシート」や「ヒヤリハット表」を元に、毎日安全確認を行うようにしました。また、始礼や終礼の場で全職員に情報共有及び注意喚起をしました。
- ・今年度はアレルギー児童はいませんが、保護者や児童が認識していないアレルギーが潜在している可能性を考慮し、以後も参考となるよう、アレルギーチェックを毎日の始礼で実施しました。

② 地域交流

- ・豊洲小学校の運動会では、保護者の整列・誘導のお手伝いを、PTA主催の秋祭りでは、遊びのブースを出展しました。
- ・近隣中学校との地域清掃活動に参加しました。また、清掃後には交流あそびをしました。
- ・毎月のおたよりを近隣の保育園や地域の機関に配りました。
- ・近隣保育園の年長児を招待し、夏祭りを行いました。

江東きっずクラブ豊洲

【職員の状況】

職名	平成30年4月1日の職員数				年間就任・退任						平成31年4月1日の職員数					
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	常勤換算	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤			
						就	退	就	退							就
施設長	1			1								1			1	
補佐1	1			1								1			1	
補佐2	2			2		1				1		1			1	
一般職員	5			5								5			5	
非常勤職員			27	27				1	6	5			21	21		
登録型 パートタイマー																
計	9		27	36		1		1	6	6		8		21	29	

【施設運営状況】

- ・『みんなで楽しく過ごすために考え行動できる子～思いやり+挑戦+工夫～』を育成目標に置き、月案会議の中で意見を出し合い実践しました。特に、今年度は職員が子どもたちの手本となる事を目標に、職員の「おもいやり」「挑戦(好奇心)」「工夫(想像力)」が前月よりもUPしたかどうかを皆で検討し、月毎に検証しました。職員間においても「感謝の気持ち」を感じながら仕事をする中でチーム力や個々の気付きが上がってきていると感じています
- ・「個別の児童の1年間の成長の歩みを追う」取り組みを行った事で、休憩中や終礼前の短い時間に、お互いに気付いた子どもたちの良い所などを自然に出し合うようになり、職員同士が児童の様子を沢山話す風土ができました。
- ・拘りの強い3年生男児が自分の楽しい事を優先する余り、全体の場を乱してしまったり、相手に嫌な事をしたり、以前の嫌だった事を思い出して仕返しをするという事が頻繁にありました。職員だけでなく、子どもたちにも「なぜそう思ったのか」「どうすれば良かったと思うか」と問いかけ、一緒に考えながらきっずクラブのルールを決めていきました。「自分勝手はしない」「周りの人に迷惑になる事はやめよう」「嫌な事はやり返さずに、直ぐに職員に知らせる」といったルールは全体に浸透し、子ども同士でも当たり前のように言い合うようになり、遊びの中でも「どうしたらもっと楽しくなるだろう」と、もっと楽しむ為のプラスαのルールを考えようとする子が増えてきました。

【利用者支援状況】

- ・個人面談や保護者会において、きっずクラブでのお子さんの様子を家庭と共有する事に努めました。
- ・個別の相談にも迅速に対応できるように、職員間の「報告・連絡・相談」の強化に努め、児童や保護者にとって良い方法をチームで考えていく形を取りました。

2019年5月31日

- ・子育てに悩む保護者が多いこの地域の中で、保護者の思いを受け止め、学校との仲介役を務める場面が多々ありました。それらの事が学校との良い関係作りにも繋がっています。今年度は特に友だちとの関わりの中でのトラブルが多く、子どもだけでなく保護者に対してもみんなが違う感じ方や考え方をする為、お互いを受け入れ認め合うことを大事にしたい事を伝えていきました。
- ・電話での対応や面談時に相手に不快な思いをさせないために、職員間での言葉遣いや挨拶については常に気を配り、気になる部分は伝え合っていました。
- ・全児童登録として利用している児童に対しても、参加予定日に来室しなかった際には安全確認の電話をかけた対応しています。
- ・「委員会活動」として新1年生のお世話係や行事の準備委員、室内整備や本の整理、ありがとうの木のメッセージカード作りなど主に2、3年生が中心になって積極的に取り組み、保護者にも好評でした。誰かの為に…という気持ちを育む上でも良い機会となりました。

【施設整備状況】

【区から準備した物品】 ・携帯用ランタン

【法人で購入した物品】 ・特になし

【年間利用状況】(各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
B登録	139	136	133	126	95	122	114	118	110	102	112	107	1414	117
A登録	103	93	99	98	70	91	82	80	74	69	72	66	997	83
計	242	229	232	224	165	213	196	198	184	171	184	173	2411	200

【利用者在籍状況推移】(各年度3月1日現在)

年度	B登録	A登録
28年度	159	375
29年度	155	347
30年度	139	350

【主なできごと】

- 4月: 塗絵コンクール 英語であそぼう・ダンス・ミニバス体験教室スタート
- 5月: 1年生入学おめでとう会塗絵コンクール
- 6月: 遊びのミニコーナースタート(将棋、読み聞かせ、折り紙)
- 7月: 各教室、メンバー固定でスタート 七夕 観劇会(学童)
- 8月: お楽しみ会「夏祭り」
- 9月: 引き取り訓練・感謝の手紙大作戦(敬老の日)
- 10月: きっずクラブ公開
- 11月: とよりんピック
- 12月: クリスマス会 遠足: 水の科学館(学童)・ドッジボール教室

- 1月:正月遊び大会
 2月:お楽しみ発表会
 3月:進級お祝い会・ドッジボール大会(学童)

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1	1年 保護者	友だちに頭を叩かれ職員に伝えたが取り合ってもらえなかった。また、上級生に叩かれ「頭大丈夫?」と言われた。いじめではないか。	職員間で聞き合わせ、事実を母に伝えた。面談や手紙のやり取りを繰り返す内に、「わが子が一方的な見方で話をしている事などが分かった」とご理解いただいた。
2	2年 保護者	いつも遊んでいるメンバーに「〇〇しないと友だちやめる」「土下座しろ」と言われると家で話している。いじめではないか。	児童にそれぞれ話を聞き、土下座などはテレビのコメディアンの実似をしていた事などが分かり、いじめではなかったと納得して頂いた。何度か父母と面談を重ね、本人がしたい遊びを選んで過ごせるようにしていった。年度内に学童登録から全児童登録に変更し、利用している。
3	2年 保護者	学童登録児童。不登校気味になり、きつずも長く休んでいた児童がいた。夏休みに半月ほど利用があり、その後もまた休みが続いていた。秋に学童登録から全児童登録への変更手続きに母親が訪れ、「兄(6年)もヤンチャで締め出された。妹もルールばかりで楽しめない。体制を変えてほしい」と言われた。	お詫びした上で変更の手続きを済ませた。冬休みにまた利用したいと言われていた為、12月の参加予定表を配付する際には手紙を付けたが、結局夏休み以降の利用はなかった。兄については、施設としては全く締め出したつもりはなかったが、過去を振り返り、何かもっと出来る事はなかったか職員間で考え意見を出しあった。
4	1年 保護者	冬休み中、開所前の早い時間から校庭に集まっている児童がおり、ある日「男児数名が走って遊んでいて、足を引っ掛けられて転ばされた。怪我は無かったが危ないので注意をして欲しい」と連絡帳に記載があった。足を出してしまった児童の連絡帳にその旨記載した所、母から電話が入り、「学校もきつずもいつもうちの子が悪いと言うがきちんと理由は聞いたのか。本人はわざとではないと言っている。きつずクラブはクレーム処理の為にあるのか」と怒っていた。	<ul style="list-style-type: none"> ・電話、連絡帳、面談を経て納得して頂く。 ・きつずクラブでは、わざとでなくても、嫌な思いや痛い思いを相手にさせてしまった時には謝るように伝えている事や、トラブルが起きた時には、その後顔を合わせる機会もある為、双方に同じ情報を伝える事になっている事などを伝えた。 ・大勢が居る場所では集中して話が聞けないことがある為、きつずで聞き取れなかった事に関しては、自宅で保護者から再度聞き取りを行って頂き、知り得た情報を(施設側と)互いに共有したい旨を伝えた。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

・区の指示に従い、年3回、避難訓練(7月、9月)と総合訓練(3月)を実施しました。

● 健康管理

・アレルギー児童へは保護者と連絡を取り、食品除去をしたおやつを提供できるように配慮しました。

「学校生活指導管理表」(写し)を確認し、どのような状態なのかを把握した上で児童対応にあたりました。

・受付にて児童への視診を行い、体調の悪そうな児童には都度対応しました。気になる児童については無線で職員全員に伝え、どこの部屋でも配慮ができるよう工夫しました。

● 衛生管理

・児童には手洗い、うがいの励行の呼びかけをし、習慣化するように努めました。

・施設の衛生点検を行い、食器や台所の衛生管理を行いました。

● 安全管理

・危険な箇所などを見つけた場合は、毎週行うチェックシートの記入時に出し合い、適宜対応しました。

・職員配置に不備のない様、毎日デイリーを作成し、確認してから児童対応を行いました。

・日々のヒヤリハットについて終礼時に意見を出し合い、改善に努めました。

・日々の室内準備や片付けの際に、部屋別のチェックリストを使って点検を行う事により、職員間で連携を取り合って安全な室内整備に努めました。

② 地域交流

● 町会主催の夏祭りにスタッフとして参加し、地域の方々との交流を図りました。

● PTA主催の行事に参加し、「きっずクラブの先生と遊ぼうコーナー」を職員が担当しました。けん玉、コマ、ギャッチ、マンカラ、長縄、人間将棋等、時間毎に違う遊びを提供しました。今年度登録のない5、6年生も大勢参加し、久しぶりの再会を喜び合いながら楽しそうに遊んでいました。保護者や校長より感謝の言葉を頂きました。

● 児童館主催の『夏祭り』に参加し、学童登録の児童がスタッフとして参加しました。当日は「チャレンジコーナー」を担当、人気のコーナーとなり、お店を担当した子どもたちも嬉しそうでした。

● 児童館主催の『地域連絡会』に参加しました。近隣3校の校長先生、PTAの会長さんや町会の方、児童民生委員の方々などと交流を深めることができました。